



成沢っ子

令和6年9月3日 第5号



教育目標 夢の実現に向けて 生き生きと学び、高め合う成沢っ子の育成

秋の田の 刈り穂の庵の 苦をあらみ

わが衣手は 露に濡れつつ

天智天皇「後撰集」



校長 熊谷 智仁

百人一首の中でもとりわけ有名な秋の歌です。田の脇に造られた仮小屋に泊まってみると、屋根のふいた苦の目が粗いので、その隙間から落ちてくる冷たい露が私の衣手（袖）をすっかり濡らしてしまいました。作者は天皇です。普段は宮廷で暮らし、粗末な小屋など入ったこともないので、このような経験が珍しくて楽しんでいるという意味です。

夏休みが終わり、子ども達の元気な声、笑顔があふれる日常が戻ってきました。夏休みの間に普段では味わえないような体験や経験が、珍しい・楽しいと五感で感じ取り子ども達のエネルギーとなった事と思います。これから始まる2学期に大いに期待を寄せています。

夏休み中に読んだ本に、『「人が行動を起こすには原因（理由）がある。その原因（理由）を解決（達成）するために人は行動する。その後に結果が生まれる。その結果が次の行動を促していく（異なる取り組みに向かう）。」また、その行動を繰り返すには、「行動を起こした人が、その行動にメリットを感じる。」つまり、その行動が「褒められ」「認められる」事で前に進む。さらに、PCゲームなどの影響で、称賛や承認がその場で感じられる【即時強化】という育ち方をしている世代には、その場で、すぐに行動を称賛・承認することが行動にメリットを与えるうえでとても効果的である。』と書いてありました。

子ども達の行動をじっくり、ゆっくり、しっかり見定めて、「〇〇に気をつけたんだね、先生も気がつかなかったよ。」「□□をやろうとしたんだね、前より上手になったね。」「△△したら上手くいかなかったから、◇◇のように変えたんだね、すごいね。」など承認する言葉と称賛する言葉をうまく交えながら子ども達の次への力になるような関わり方を工夫していきたいと考えました。

秋の夜長、TVやPCのスイッチを切り、スマホの画面から目を移し、ご家庭で学校での出来事をお話するときにはこのテクニックを使ってみてください。お子さまの表情に変化がみられるかもしれません。

保護者の皆様、地域の皆様、成沢小学校では、2学期も子ども達が安全で安心な学校生活が送れるよう工夫や改善をしてまいります。皆様におかれましては、今後とも本校教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【1 学期アンケート集計結果報告】

7 月には、保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。（有効回答数 117 件、70%）
同時期に児童・教員にもアンケートを実施しました。集計結果とご意見に対する回答をお伝えします。

※ アンケート結果については、肯定的な評価についての割合を示し、評価の低かった項目や児童と教員の評価の差が大きかった項目について色別に表示しています。（単位：％）

	1 学期末アンケート 項目	児童	教員	比較
1	「じゅぎょうが よくわかる。」	88	94	
2	「1 にち 1 かいよりおおく はっぴょうしている。」	56	81	25%
3	「べんきょうの きまりを まもっている。（もちもの、よいしせいなど）」	84	75	
4	「ほんよみや しゅくだい じしゅがくしゅうを やっている。」	84	81	
5	「タブレットを ひつようなときに つかっている。」	89	100	
6	「まなんだことを じぶんのせいかつに やくだてている。」	87	88	
7	「まなんだことから あたらしいぎもんや しりたいことが みつけられた。」	79	75	
8	「まなんだことを ともだちや いえのひとに つたえることが できる。」	77	69	
9	「1 がっきの はじめとおわりでは できるようになったことが ふえた。」	89	100	
10	「がっこうに くるのが たのしい。」	86	100	
11	「げんきに あいさつや へんじをしている。」	86	81	
12	「がっこうには なかよしの ともだちがいる。」	93	100	
13	「おそうじを だまって いっしょうけんめいに おこなっている。」	81	56	25%
14	「「成沢っ子せんげん」をおもいだして こうどうすることがある。」	79	88	
15	「じぶんには よいところが あるとおもう。」	84	100	
16	「ともだちの よさを みつけている。」	92	100	
17	「じぶんには しょうらいのゆめや もくひょうがある。」	88	88	
18	「先生たちは よいことをしたり がんばったりしたときには ほめてくれる。」	90	100	
19	「先生たちは わるいことやいじめをしたときには きちんとしかってくれる。」	92	100	
20	「先生たちは こまったときに はなしを きいてくれる。」	94	94	
21	「そとで げんきに あそんでいる。」	85	100	
22	「きゅうしょくは すき きらいなく たべている。」	71	56	
23	「はやね はやおきを している。」	76	94	18%
24	「あさごはんを たべている。」	92	100	

- ・学習面では「1 日 1 回以上発表している。」「学んだことから新しい疑問や知りたいことが見つかった。」「学んだことを友達や家の人に伝えることができる。」といった表現・発信についての評価が 8 割未満でした。表現力・発信力を高めることは、情報を整理し理解を深めることにつながります。様々な手法を用いて、話す活動や書く活動だけでなく、知識を活用する場面を充実させていきたいと思います。
- ・清掃や給食に関する項目については、児童と教員の評価が共に低く、また、認識の差も見られました。清掃や給食の指導の工夫が必要だと感じております。

	1 学期 保護者アンケート項目	1 学期
1	確かな学力「お子さんは、授業が分かる（楽しく受けている）。」	91
2	確かな学力「お子さんは、本読みや宿題、自主学習をやっている。」	80
3	確かな学力「お子さんは、タブレットを効果的に活用している。」	66
4	確かな学力「お子さんは、学んだことを自分の生活に役立てている。」	83
5	確かな学力「お子さんは、学んだことを自分の生活に役立てている。」	85
6	確かな学力「お子さんは、1 学期の始めより終わりの方が成長した。」	92
7	豊かな心「お子さんは、楽しく学校に通っている。」	96
8	豊かな心「お子さんは、元気なあいさつや返事ができる。」	85
9	豊かな心「お子さんは、自分や友達のよいところを見つけている。」	92
10	豊かな心「お子さんには、将来の夢や目標がある。」	74
11	健康や体力「お子さんは、「早寝・早起き・朝ご飯」ができています。」	91
12	健康や体力「お子さんは、交通ルールを守るなど安全に気を付けています。」	97
13	学校は、行事や授業などを通して、子ども達が認められる場を設けている。	92
14	学校は、各種便り・HP 等で、学校の考えや子ども達の様子を伝えている。	92
15	学校は、PTA や地域と協力し合って教育活動を進めている。	92

タブレットの効果的な活用における肯定的な回答が、7 割未満でした。各学年の発達段階に応じて、家庭でも効果的にタブレットを活用した学習が行えるようを指導していきます。

番号	1 学期の保護者アンケート（意見）
Q1	担任の先生に信頼を寄せているようで、何でも相談できているようです。でもそれをお友だちにはチクリ魔と言われることに少し傷ついています。でも負けないで何でも相談するように話してあります。
Q2	いつもお世話になっております。子どものために様々なご配慮をいただき、本当にありがとうございます。感謝しております。
A	児童が担任を信頼し、何でも相談していると伺いありがたく思います。ただ、中には素直になれない児童もいるのかも知れません。各学級において、児童の生活全般を支援してまいります。励ましのお言葉をいただき、ありがとうございます。
Q3	忘れ物などのミスが多いのですが、先生の助けも借りて小学生生活ができています。まだ体が小さくタブレット入りのランドセルを担ぐのに難儀している節があるので、学校に置いておけるものがもう少し増えると助かるかもしれません。
Q4	学校のタブレット PC は不要だと思います。理由は、YouTube が視聴できてしまうからです。勝手に見られないように管理するべきだと考えています。PC を使って自宅学習は全くやっておらず、YouTube 用のタブレット PC になっています。見られるようになってしまってるので、時間制限だけはしていますが、YouTube が見られるデバイスはまだ持たせなかったです。
Q5	タブレット使用の時間が多いと、視力の低下、姿勢が悪くなるのが心配です。
A	学習用具の教室保管については、持ち運びの負担を考慮し、検討していきます。 タブレットの活用については、児童の発達段階に応じた工夫が必要だと考えておりますが、学校と家庭とで、文房具同様の活用が望まれます。ご理解いただければ幸いです。

番号	1学期の保護者アンケート（意見）
Q6	持ち物や使う日など、もう少し詳細に教えていただきたいです。例えばタブレットは毎日持ち歩くのかどうかよく分からず、使わなくても持ち歩いています。
Q7	授業等で必要な物・時期・購入方法や決まりの有無が直前もしくは問い合わせないとわからないことが多いです。
Q8	宿題のやり方や新しい取り組みの時は連絡帳だけでなく、マチコミを活用したお知らせが欲しいです。子どもの文字も読みづらかったり、先生の言葉の内容が理解できていないことが多いです。
Q9	帰りの会の時間より前に連絡帳を記載していると聞いていますが、連絡帳に書いている内容の宿題プリントが渡されていなかったりします。子どもが学校に忘れてきたのか、配付忘れなのかが分からないところがあるため、記載内容のものをきちんと配付していただきたいです。
A	宿題や準備物等の連絡では、ご不便をおかけしました。マチコミ等を活用して、児童が安心して学校生活を送れるよう努めてまいります。
Q10	運動会の応援団や長年あった競技がなくなったのは非常に残念です。放送委員会がなくなったのも同様です。もう少し子どもの意見を尊重すべきだと思います。
Q11	今年から放送委員会がなくなり、運動会の応援団がなくなり子ども達を楽しみにしていたので残念でした。なぜやらなくなったのか子ども達にきちんと説明してあるのでしょうか。先生達は大変だと思いますが、希望する人数が多い時はもう一度検討して欲しいです。
Q12	運動会を縮小しているのは理解しているが、応援団がないことや、順位を競うことがなくなってしまったのは子どものやりがい損なわれていると感じました。
Q13	行事の在り方は工夫が必要かと思います。
A	運動会は個人競技のように全力で競うことと合わせて、表現運動のように伸び伸びと身体を動かす楽しさを味わうことをねらいとしています。また、学校放送については、委員会活動としてではなく、各行事で希望する児童には担当する機会をつくり、児童の活躍の場を広げていきたいと考えております。
Q14	4月の授業参観は休日ということもあり、保護者は両親が参加した家庭が多く、授業中にも関わらず世間話をしている保護者が多かったです。子どもが主役なので、参加する保護者は1家庭につき1人までというように人数制限を設けてはいかがですか。
A	児童の授業の様子をたくさんの方にご覧いただくことで、本校の教育活動への理解を深めていただきたいと考えております。私語が多かったとのことで、ご迷惑をおかけしました。皆様に気持ちよく、ご参観していただけるよう、注意喚起いたします。
Q15	個人の能力に合ったペースでの授業の進行を望んでいます。
A	児童が学びやすい学習形態や授業進度等を配慮して学習指導を行っていきます。ご理解・ご協力をよろしくお願いします。
Q16	身体的なスポーツ活動を増やし、昼食時にカルシウム不足に備えてほしいと思います。
A	体育の時間だけでなく、休み時間の外遊びを推奨し、体力作りに励んでおります。特に、本校では、木曜日にロングの昼休み（なるさわタイム）を設け、運動能力の向上に努めております。中でも、縦割り遊びの大皆遊は、上級生と下級生が交流できる有意義な場となっています。また、カルシウムを始めとした成長期に必要な栄養素がバランス良く摂取できるよう、食育指導を進めているところです。栄養教諭の出前授業等を充実させてまいります。

番号	1学期の保護者アンケート（意見）
Q17	攻撃的な子がいてストレスを感じています。
A	児童が安心して学校生活を送ることが大切です。嫌な思いをしたりストレスを感じたりしているとのことです。全児童が自らの言動を振り返り改善できるよう指導してまいります。今後も、保護者の皆様と連携していきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。
Q18	夏休み、冬休みの宿題は、少なめにして頂けると助かります。長い休暇でしかできない家族との関わり、遊びを思いっきり楽しんでもらいたいと思っています。
A	夏休みや冬休みの目的の一つは、普段学校では体験できないような体験活動や探究活動を行うことにあります。児童が興味のあることに、時間を気にせず夢中になって取り組んだり、家族と有意義な時間を過ごしたりしてほしいと思います。休み中の課題は、児童が興味関心に応じて、取り組めるような工夫を、今後も続けていきます。また、日立市では、平日授業の代わりに児童が保護者と一緒に体験活動等を行う「ラーケーション」を年間最大5日間取得することが可能ですので、機会がありましたらご活用ください。
Q19	トイレが汚いことが多いと聞きました。嫌がっていたので、大変かと思いますがお掃除の点検などご検討をお願いします。
A	児童がトイレが汚いと感じているとのことで、ご迷惑をおかけしました。授業日は担任や養護教諭を中心にトイレの点検をしております。また、長期休業中は、トイレの大掃除を教職員で行っておりますが、行き届かない所があったと考えます。改善してまいります。
Q20	運動会の時、子供会エリアにシートを敷いたところ子供会に入っていないと、敷いてはいけないと注意を受けました。その様なルールがあるなら事前説明が必要だと思いましたが、お便り等での記載はあったのでしょうか。
A	運動会の応援エリア（シートを敷く場所）についてのお知らせが十分でなく、ご迷惑をおかけしました。応援エリアは子供会ではなく、地区ごとに区切ってあります。子供会への加入状況とシートを敷く場所の制限はございません。誤解を招いてしまい、申し訳ありませんでした。
Q21	いつも温かくご指導下さり大変感謝しております。学校づくりとはまた少しずれてしまうかもしれませんが、立哨当番の回数が多くなっていることで負担を感じております。立哨は子ども達のために大事なことだと思いますが、月に2回は負担が大きいです。担当区域を検討していただけるとよいのではないかと思います。
A	登校時の立哨活動、お世話になっております。立哨当番の回数については、交通安全母の会が中心となり、各地区の状況に応じて立哨場所や回数等を協議して決めていると伺っております。地区ごとに、ご検討いただければありがたいです。